《 成 人 部 》

住み慣れた世田谷区で安心して暮らせるよう、会員には障害者に関する施策や情報を伝え、会員の様々なニーズを把握し、区に要望する活動を行っています。権利擁護や親なき後についての講演会や区外施設のバス見学会を開催しています。地域会では公的機関の担当者の話を聞くと共に、会員同士の親睦を深めています。

《 高 等 部 》

高等部卒業後の子どもの進路を選択するために、より多くの情報を収集できるように活動しています。施設・企業の見学会や作業所体験、成人部会員との交流、高等部通信の発行などのほか、主に進路に関わる要望をまとめ、区へ伝えています。

《 教 育 部 》

就学前から小学生・中学生までの特別な支援を要する子どもを持つ親が、子どもの教育のより良い環境と内容の充実を求めて、様々な情報を得ながら学び、教育委員会へ要望を提出します。また子どもの年齢の枠を超えて交流の輪を大きくし、地域にあたたかなネットワークを作っていきます。勉強会、施設・企業見学、中学校紹介・高等部紹介、教育部ニュースの発行等、幅広く活動しています。

《喫茶ぴあ》

世田谷区からの委託を受け、障害のある人のための体験実習事業を行う店舗として 1998 年より運営しています。区内の施設に通いながら就労を目指す方の練習の場として、また施設とは異なる社会体験のできる場として、多くの方に喫茶体験実習をご利用いただいています。
地域の皆さまの温かい応援をいただきながら、ほっと安心できるお店をめざして営業を続けてきました。
作業所で作られた焼菓子などの販売もしています。

粕谷店
　粕谷区民センター１F
鎌田店
　鎌田区民センター１F

《(一社)つながりラボ世田谷》

2017 年 6 月、本人の余暇を豊かにする機能と家族・本人をやさしく支える機能を二本の大きな柱として親の会の有志により設立されました。本人向けのプログラムの実施や、障害のある子を育てているご家族向けの相談窓口の設置。また、将来的には法人後見の受任も目指します。

《(社福)せたがや樫の木会》

知的障害のある我が子が生まれ育った世田谷で生涯を送れるようにという長年の思いを込めて、2002 年 2 月「社会福祉法人 せたがや樫の木会」が誕生しました。通所施設や GH などの運営を通して、地域における障害者支援を推進しています。

Inclusion Setagaya

世田谷区手をつなぐ親の会

Inclusion Setagaya

地域で生きる
手をつなぎ　ともに支えあう
やさしい風がふく

世田谷区手をつなぐ親の会
会長　渡部 伸

〒156-0051
世田谷区宮坂 2-26-17
ソーワ豪徳寺マンション 306

TEL：3706-0067
FAX：3706-0246

https://oyanokai-setagaya.com
mail @ oyanokai-setagaya.com

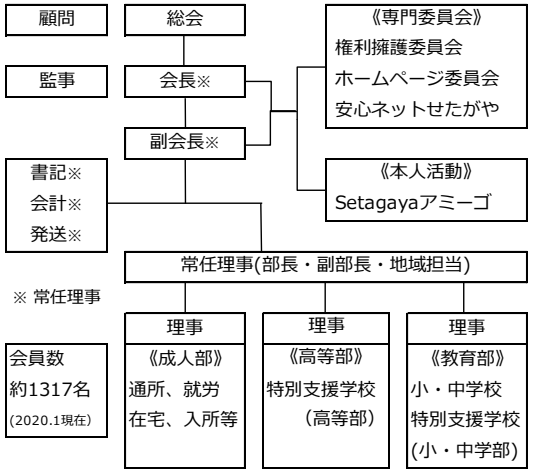
活動目的

世田谷区手をつなぐ親の会は、1957 年の設立から 60 年以上にわたって活動してきた団体です。障害福祉の社会資源がほとんどない頃から、多くの先輩たちの大変なご努力によって、脈々と歴史が築かれてきました。
親の会の活動目的は、障害者の権利を守る運動体、会員に対する情報提供、そして家族や本人たちのつながりの機能があります。特に、本人たちが地域で安心して生活するためには、やはり人と人とのつながりが必要です。その場を提供することが親の会の重要な役割かなと考えています。
仲良く楽しく無理をせず！をモットーに、これからも障害者本人と家族の安心のために活動していきます。

活動内容

定期総会(年 1 回) 、理事会(年 11 回)
地域会（5 地域ごとに年 1 回）
高齢者の会、所属別の会、
施設見学、新年会
区民ふれあいフェスタへの参加
会報 / 親の会だよりの発行
区への要望書提出
本人活動(Setagaya アミーゴ)
体験実習、喫茶ぴあの運営など

組　織　図



沿　　革

「世田谷区手をつなぐ親の会」（親の会）は、区内の特殊学級（現在の特別支援学級）の親が集い、先生方の協力の下で 1957 年に誕生しました。
1974 年に東京都が希望者全員就学を認めることになった後は、卒業後の働く場の不足を補うために、1976 年 4 月、第 1 カ所目の民営福祉作業所として「白梅福祉作業所」を開設するなど事業も展開してきました。
2003 年の“措置から契約へ”、2006 年の障害者自立支援法と 2013 年の障害者総合支援法施行など、障害者施策に関する国の方向が大きく変わってきたことを踏まえ、活動内容も共生社会の実現に向けた取り組みにシフト。2009 年から、通常の活動に加えて新しい課題に取り組むための専門委員会を設置できるようにしました。親の会は今後も「障害の有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で自分らしい生活を安心して継続できる社会の実現」をめざして運動を続けていきます。

上部団体

東京都手をつなぐ育成会　　http://www.ikuseikai-tky.or.jp
全国手をつなぐ育成会連合会　　http://zen-iku.jp/

《専門委員会》

権利擁護委員会

権利擁護委員会は当初は「後見制度専門委員会」として活動を始めましたが、2014 年 1 月に日本が障害者権利条約の批准をしたことを受けて、同年 4 月から「権利擁護専門委員会」と改称、年 2 回の勉強会開催などを中心に、後見制度だけではない広い意味での「権利」を考えていく活動に取り組んでいます。

ホームページ委員会

親の会の多様な活動の発信を目的に 2009 年開設。現在は会の活動に加え、関係施設や地域のイベント等、障害に関する身近な情報も提供。随時、迅速な更新を通して広報の役割を担っています。

ホームページのＱＲコードです。
ぜひご覧ください。

安心ネットせたがや

障害があっても、生まれ育った世田谷で、地域の皆さんと仲良く暮らし続けるために、知的障害のある本人の気持ちを伝えたい！と、「セータとガーヤの気持ち伝え隊」を結成しました。
「見て、聞いて、体験して、知ってください」をモットーに、疑似体験のワークショップを行っています。
このキャラバン活動を通して、障害があっても安心して安全に地域で暮らしていくことのできる社会になることを目指しています。

セータくん　ガーヤちゃん

《本人活動》

Setagaya アミーゴ

親の会は、世田谷区に住む障害のある本人たちが自ら役員会・運営委員会を組織し、活動を行っている Setagaya アミーゴを、サポートしています。定例ミーティング、運営委員会、交流イベントなどの活動を通じて仲間と知り合い、自ら活き活きと暮らしていけるよう、支えています。